

(単元) 身近な地域の防災を考える①

(本時のねらい)

- ・日本の地形や自然災害の特徴, 防災についてのあり方について考察させる。
- ・自分の居住している地域にどのような自然災害のリスクがあるのか理解させる。

(ICT 活用方法)

- ・電子黒板の活用 本時の活動内容の提示
- ・生徒端末の活用 生徒によるインターネットでの情報収集

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 5分	・自分の住んでいる市町村の HP からハザードマップを確認し, 身の回りで起こりうる自然災害についての防災意識を高める。		・地元のハザードマップを電子黒板に提示する。
展開 30分	・自分の住んでいる市町村の HP にアクセスし, ハザードマップを確認する。  ・自分の住んでいる市町村の災害想定等を確認し, どのような自然災害があるのか, また避難場所の存在を知る。	・生徒が活動内容を理解できているか, 生徒端末の操作が適切か, を確認のため適宜机間巡視を行う。	・生徒端末を活用し, 自分の住んでいる市町村のハザードマップにアクセスさせる。
まとめ 5分	・本時の学習内容を振り返る。	・本時の要点をまとめて説明する。	

(授業の様子)



(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

自分の住んでいる市町村のハザードマップにアクセスするまでにやや時間がかかった

## 20205 地理 A\_1\_302 個別\_身近な地域の防災を考える

が、生徒は実際に住んでいる場所の危険度を視覚的に理解することができ、大きな反応があった。

ハザードマップにアクセスするまでの時間については、教員側で事前に用意しておいた URL 等を授業支援アプリ等の活用により生徒端末に送信しておくことで短縮することが可能であると思われる。